

## 2025 年度秋季大会優秀講演発表賞受賞者

2025 年度秋季大会は、2025 年 10 月 28 日（火）～30 日（木）の 3 日間、九州大学医学部百年講堂で開催しました。学生会員の講演発表のうち、下記の 15 名の学生会員に優秀講演発表賞を授与することが決定致しました。

- 芥川 大輝（名古屋大学）  
「超高速高温焼結（UHS）法を用いた WC-Co 超硬合金の焼結」
- 大崎 友理乃（名古屋大学）  
「3D アンカー構造を用いた金属/樹脂接合体におけるラティス剛性が接合部の内部応力に及ぼす影響」
- 大畠 新大（豊橋技術科学大学）  
「金属ハロゲン化物添加  $\text{Li}_2\text{S}$  正極活物質を用いた全固体リチウム硫黄電池の電気化学特性」
- 金川 隼也（熊本大学）  
「磁場を用いた SSZ-13 の組織制御」
- 楠 涼太郎（名古屋大学）  
「Al-Cu 共晶合金粉末を助剤とする Al 粉末液相焼結挙動のモンテカルロシミュレーション」
- 佐藤 七恵（東京都立大学）  
「指向性エネルギー堆積法で造形した IN718 材の造形寸法が組織と高温強度特性に及ぼす影響」
- 洲崎 真桜（岡山大学）  
「分極強化された  $\text{BaZrO}_3$  基プロトン伝導体へのキャリア導入」
- 中井 慎司（京都大学）  
「酸素ポテンシャル制御による M 型および W 型 Sr フェライト共存相の合成」
- 中山 創（東京科学大学）  
「高品質 HSQ マスク法  $\text{BiFe}_{0.9}\text{Co}_{0.1}\text{O}_3$  ナノドットのドメイン構造評価」
- 早野 大介（名古屋工業大学）  
「無焼成固化法で作製した多孔体の DAC 技術への応用」
- 二見 琉斗（立命館大学）  
「BCC/B2 および FCC 系ハイエントロピー合金を用いた複合調和組織材料の微細組織と力学特性」
- 細辻 一（京都大学）  
「 $\text{Mg}_x\text{Y}_{1-x}\text{Co}_2$  のバンドフィリングによる磁性制御」
- 北條 圭純（豊橋技術科学大学）  
「熱伝導を制御するための巨視組織設計」
- 宮内 健太郎（立命館大学）  
「MM/SPS プロセスによる Ti-Ni/Cu 複合調和組織材料の微細組織と熱特性」
- Xiao Wang（東北大学）  
「Fabrication of 316L Stainless Steel with Biomedical Titanium Oxide Coating Using Laser Powder Bed Fusion」

（総評）

今秋季大会全体の発表申込件数は 169 件、優秀講演発表賞への応募数は 70 件でした。いずれの発表も研究内容がよく整理され、丁寧な準備の様子がうかがえましたが、時間配分や要点整理に課題が見られる発表もありました。今大会で得られた経験を基に、さらなる研究の充実と発表の洗練が進むことを期待します。

（一社）粉体粉末冶金協会 会長 尾崎由紀子